

丹波篠山市立篠山東中学校 学習・生活に関する学力向上プラン

本校では、中学3年生を対象に5月に実施した全国学力・学習状況調査ならびに丹波篠山市学力・生活習慣状況調査をもとに授業等の改善を行うため、本紙『学習・生活に関する学力向上プラン』を作成しました。学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習及び生活習慣の改善や学校の教育活動に対してご支援いただければありがたいと思います。

全国学力・学習状況調査、丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要

『**国語科**』「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において全国平均正答率を上回っており、良好な結果となっています。また、言語について「知識・理解・技能」の問題の正答が高く、普段の授業やさまざまな取り組みを通して言葉を理解し、問題の解決に向けて考える力がついてきていると考えられます。

『**数学科**』「数と式」の領域すべてにおいて全国平均正答率を上まわっており良好な結果となっています。また、「数学的な技能」の問題の正答率が高く、基本的な計算能力だけでなく、数学的な見方ができ、身につけた力を活用する力がついてきていると考えられます。

『**学習習慣・生活習慣等についての意識アンケート**』「生活習慣・学習習慣」「規範意識」についての項目において、概ね良好な回答が見られました。また、「学校へ行くのが楽しいと思う」「自分には良いところがあると思う」と回答した割合が高く、自己肯定感を得ながら学校生活を送れていることがうかがえます。

現在の課題および今後の学力向上方策

『**国語科**』

「国語が好きである」「国語が大切である」「国語の授業の内容はよく分かる」と思う生徒が多く、概ね良好な結果に表れています。しかし、他の領域に比べ「読むこと」に課題が見られます。国語の時間を中心に、文章を丁寧に読み込む機会を充実させていきたいと考えています。

『**数学科**』

「関数」の内容において課題が見られます。グラフから事象を読み取って、解答したり説明したりする問題が苦手な傾向があります。数学の授業を中心に、ICTの活用等、視覚的に物事を把握する機会を増やしつつ、数学的な視点を持ち、説明する力を伸ばしたいと考えています。

『**学習習慣・生活習慣等についての意識アンケート**』

「学習習慣」において「教科の授業や道徳・学活等での話し合い学習」の中で自分の意見を述べたり、友だちの意見をしっかり聞いたりすることで、ものの見方や考え方を深めています。一方、「家庭における学習の時間」では、平日・休日ともに全国平均よりも低い割合になっています。家庭での時間の使い方の大切さを育てるとともに、見通しをもって生活できるように指導を継続していき、進路実現につなげていきたいと考えています。

【保護者へのお知らせとお願い】

本校では、今回の調査結果を生かして、お子様一人一人についての学習の在り方や生活習慣について、指導方法を検証し、取組を充実させていきます。

ご家庭におかれましても、子どもたちの家庭学習の在り方について今一度ご確認いただき、ご支援をよろしくお願いいたします。3年生はこれから進路決定の時期を迎えます。進路についてはご家庭でもよく話し合ってください、子どもたちが目標を持って前向きに取り組むことができるようよろしくお願いいたします。